

第 2 次宇都宮都市交通戦略

具体的な施策事業 個票

令和 3 年 3 月

目 次

方針	整理番号	施策・事業名	ページ
基本方針1	1-(1)-①	LRTの導入	1
	1-(1)-②	バス路線の充実	2
	1-(1)-③	地域内交通の充実	3
	1-(1)-④	市街地部における生活交通の確保	4
	1-(2)-①	都市計画道路の整備	5
	1-(2)-②	スマートインターチェンジの整備	6
	1-(3)-①	自転車走行空間や歩行空間の整備	7
	1-(3)-②	シェアサイクルの充実	8
基本方針2	2-(1)-①	トランジットセンターの整備	9
	2-(1)-②	鉄道駅周辺の交通環境の整備	10
	2-(1)-③	バスと地域内交通の乗り継ぎポイントの整備	11
	2-(1)-④	パークアンドライド用駐車場の整備	12
	2-(1)-⑤	サイクルアンドライド用駐輪場の整備	13
	2-(2)-①	公共交通の運賃負担の軽減	14
	2-(2)-②	乗り継ぎに配慮した運行ダイヤの編成	15
	2-(2)-③	交通ICカードの導入	16
基本方針3	3-(1)-①	バスの定時性・速達性の向上	17
	3-(1)-②	バスの運行時間帯の拡大	18
	3-(1)-④	企画乗車券の充実	19
	3-(1)-⑤	バスの待合環境の整備	20
	3-(2)-①	公共交通の案内情報の提供	21
	3-(2)-②	バスの運行情報の提供	22
	3-(2)-③	公共交通の案内サインの充実	23
	3-(2)-④	バスの方面別系統番号の導入	24
	3-(3)-①	ノンステップバスやUDタクシーの導入推進	25
	3-(3)-②	交通施設のバリアフリー化の推進	26
	3-(3)-③	交通安全に関する市民意識啓発の推進	27
	3-(4)-①	モビリティ・マネジメント施策の推進	28
	3-(4)-②	公共交通の「おもてなし」の向上	29

方針	整理番号	施策・事業名	ページ
基本方針 4	4-(1)-①	自動運転や安全運転支援装置の公共交通への活用	30
	4-(1)-②	バス・タクシーへのゼロエミッション車の導入推進	31
	4-(1)-③	トランジットセンター周辺の低炭素化の推進	32
	4-(2)-①	公共交通と連携したカーシェアリングの導入	33
	4-(3)-②	広域バス路線の充実	34
	4-(3)-⑤	周辺市町と連携した交通施策の推進	35

1. 多様な交通手段を「つくる」

1-(1)-①		LRTの導入
施策事業の概要	高い輸送力や定時性を備え、人や環境にやさしく、産業の振興や沿線地域の活性化など、将来のまちづくりに多くの効果が期待できるLRTを、東西基幹公共交通として導入する。	
事業主体 (関係機関等)	交通事業者, 宇都宮市	
施策事業の進捗状況	R 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅東側 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LRTの整備工事（鬼怒川橋りょう工事，軌道工事等） ⇒ 車両の製造 ⇒ 停留場の名称等の検討 ⇒ 用地の取得 ⇒ 運営体制の構築 ⇒ 各種割引施策等の検討 ○ 駅西側 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LRTの事業化に向けた検討 ○ 市民理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LRT事業に関する情報発信，工事見学会の開催等



LRTの車両デザイン



製造中の車両



軌道・停留場の整備
(清原工業団地)

1-(1)-② バス路線の充実

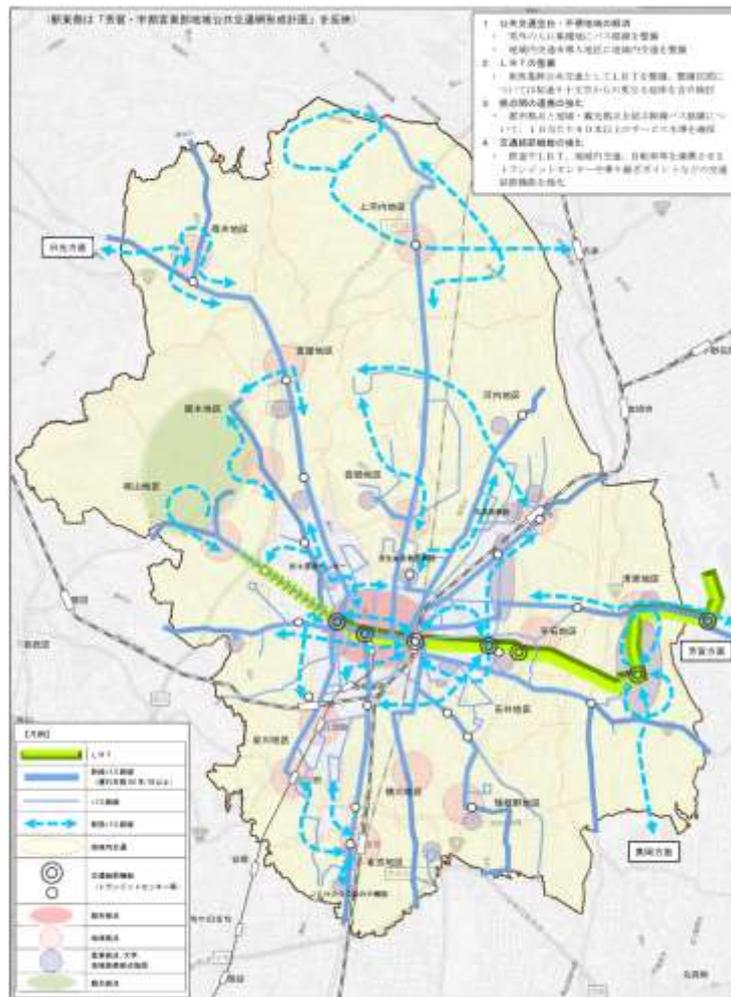
公共交通空白地域を解消するとともに、都心部と各地域の拠点などの拠点間の移動の利便性を高めるため、LRTや地域内交通と連携し、役割分担しながら、バス路線の新設や既存バス路線の運行サービスの向上を図り、LRTや地域内交通と連携した効率的なバスネットワークを構築する。

事業主体
(関係機関等) 交通事業者, 宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2

- 駅東側バス再編
 - ⇒ バス事業者との協議・調整
 - ⇒ 周辺自治体等との協議・調整
 - ⇒ 再編後の路線の維持方策の検討
 - ⇒ 「芳賀・宇都宮東部地域公共交通利便増進実施計画（案）」の作成
- 駅西側バス再編
 - ⇒ 将来の公共交通ネットワークイメージの具体化
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ⇒ バス事業者への行政支援策の実施

将来の公共交通ネットワークイメージ

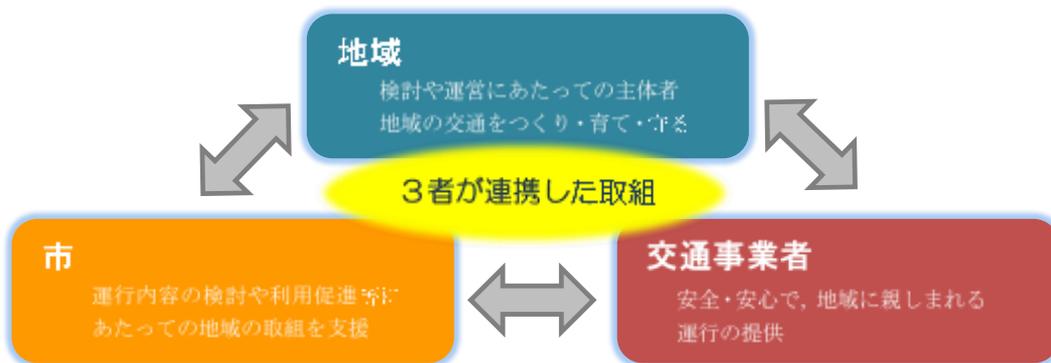


1-(1)-③ 地域内交通の充実	
施策事業の概要	<p>郊外部における通院や買い物などの日常生活の足として、乗合タクシーなどにより、地域を面的にカバーする地域内交通の導入を推進する。</p> <p>また、既に導入済みの地区においては、LRTやバスなどの他の交通手段との連携を強化するとともに、各地域の状況に合わせて運行計画の見直しを図るなど、更なる利便性の向上を図る。</p>
事業主体 (関係機関等)	地域住民, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部未導入地区 ⇒地域住民の意識醸成, 意見交換, 意向把握の取組 ⇒具体的な運行内容の検討(清原地区・雀宮地区) ○導入済み地区 ⇒運行の効率化, 利便性向上, 利用促進の取組 ⇒目的施設の追加
<p>地域内交通の導入エリア (H30. 3. 31 現在)</p>	

1-(1)-④ 市街地における生活交通の確保	
施策事業の概要	市街地における通院や買い物などの日常生活の足として、バス路線やタクシーなどの既存の公共交通と役割分担しながら、各地域の特性を踏まえた生活交通を確保する。
事業主体 (関係機関等)	地域住民, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	【導入に向けた取組】 ○地域住民の意識醸成・意向把握 ⇒ アンケート調査の実施（明保地区） ⇒ 勉強会の実施（細谷・上戸祭地区） ○具体的な運行内容の検討 ⇒ 運行ルート案の作成（峰地区） ⇒ 目的施設追加による運輸局への許可申請（石井地区）

市街地における生活交通の基本方針

- ① 高齢化の進行や買い物弱者等の生活移動への対応
高齢化の進行や買い物弱者等の課題に対応するため、地域・市・交通事業者の3者が連携して市街地の生活交通を確保していきます。
- ② 既存公共交通との共存・共栄・連携
既存公共交通の営業活動を阻害することのないよう共存・共栄・連携して生活交通を確保します。
- ③ 地域住民による組織の形成及び地域が主体となった導入・維持
自らの交通を「つくり」・「育て」・「守る」という意識を持って取り組んでいきます。



出典：市街地における生活交通確保ガイドライン

1-(2)-① 都市計画道路の整備	
施策事業の概要	自家用車はもとより、バス路線や地域内交通などの公共交通による移動を円滑化するため、都市の骨格を成す3環状12放射からなる幹線道路をはじめ、拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備する。
事業主体 (関係機関等)	栃木県, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○用地取得・整備工事 ⇒大通り（桜・駒生） 宇都宮水戸線（築瀬） 国道 119 号（宇都宮環状北道路） 国道 408 号（真岡宇都宮バイパス） 産業通り（陽東・宇大 2 地区） 宇都宮日光線（一条） 鶴田宝木線（鶴田町・西川田町） 宇大東南通り（宇大 2 地区） 駅西中央通り（岡本駅西地区） 岡本駅西線（岡本駅西地区） 内野線（岡本駅西地区） 鶴田通り（鶴田 2 地区） 昭和通り（鶴田 2 地区） 塙田平出線・宇都宮日光線（小幡清住地区）
<p>国道 119 号（宇都宮環状北道路）の整備状況</p> 	

1-(2)-② スマートインターチェンジの整備	
施策事業の概要	市民や来訪者などの交通利便性の向上や防災機能の強化,さらには地域振興を図るため,スマートインターチェンジを整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	○(仮称)大谷スマートIC ⇒用地関連業務委託 R2



出典：市HP「道路のストック効果の具体的な事例」より

1-(3)-① 自転車走行空間や歩行空間の整備	
施策事業の概要	<p>自転車が安全に走行できるよう、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示などによる自転車走行空間を整備する。</p> <p>また、自転車走行空間の整備により歩行者と自転車を適切に分離することや、歩道沿いなどにベンチ等の休憩スポットを整備するなど、歩行者の安全性向上と歩いて出掛けやすい環境の整備を図る。</p>
事業主体 (関係機関等)	栃木県, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 2</p> <p>○矢羽根型路面表示 ⇒市道6378号線など4路線 約1.9kmを整備</p> <p>(参 考)</p> <p>○山田川サイクリングロード整備 ⇒約1.0km (全線開通: 約11.2km)</p>
	
矢羽根型路面表示	

1-(3)-② シェアサイクルの充実	
施策事業の概要	市民や来訪者などの移動の利便性を高めるため、鉄道駅やLRT停留場から目的地までのラストワンマイルを支える交通手段として、また、中心市街地や観光地などを周遊するための交通手段として、交通ICカード等で決済できるシェアサイクルを充実させる。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○導入に向けた情報収集等 ⇒ 事業者との意見交換

シェアサイクルのイメージ



2. 交通手段と交通手段を「つなぐ」

2-(1)-① トランジットセンターの整備	
施策事業の概要	多様な交通手段が連携した利便性の高い公共交通ネットワークを形成するため、LRTの整備と合わせて、LRTとバス路線、タクシー、自動車などとの交通手段間の乗り換えが想定される箇所において、円滑に乗り継ぎや乗り換えができるトランジットセンターを整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 2</p> <p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トランジットセンターの整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒JR宇都宮駅東口改修に向けた設計 ⇒ベルモールトランジットセンターの詳細設計 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事（整地，上屋等） ⇒「(仮称)平出町トランジットセンターゾーン整備基本方針」の策定 <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○LRTの事業化に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒JR宇都宮駅西口における最適なLRTルート of 構造として、「高架案」を選定 ⇒東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における交通結節機能や施設規模等の検討



トランジットセンターのイメージ



トランジットセンターの整備状況
(清原工業団地)

2-(1)-②

鉄道駅周辺の交通環境の整備

施策事業の概要 LRTの導入などを踏まえ、JR宇都宮駅西口及び東口において、バスやタクシー、自動車などが円滑に通行できる環境を整備するとともに、鉄道やLRT、バス路線、タクシー、自転車などの乗り換えが便利な交通環境を整備する。

事業主体
(関係機関等) 宇都宮市

施策事業の進捗状況

R 2

- J R 宇都宮駅東口
- ⇒ J R 宇都宮駅東口第2自転車駐車場の供用開始
- ⇒ 民間駐車場の着工
- ⇒ 中央街区の仮設 J R 宇都宮駅東口第2自転車駐車場の撤去

J R 宇都宮駅東口第2自転車駐車場



2-(1)-③ バスと地域内交通の乗り継ぎポイントの整備

施策事業の概要 郊外部の各地域内での移動を支える地域内交通と、郊外部と都心部の間の移動を支える幹線バス路線の乗り継ぎが想定されるバス停留所において、上屋やベンチなどを設置し、快適な待合環境を整備する。

事業主体 (関係機関等) 宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2
 ○乗り継ぎポイントの整備 (1か所)
 ⇒バス停上屋の設置(雀宮駅入りロバス停)

バスと地域内交通の乗り継ぎポイントのイメージ



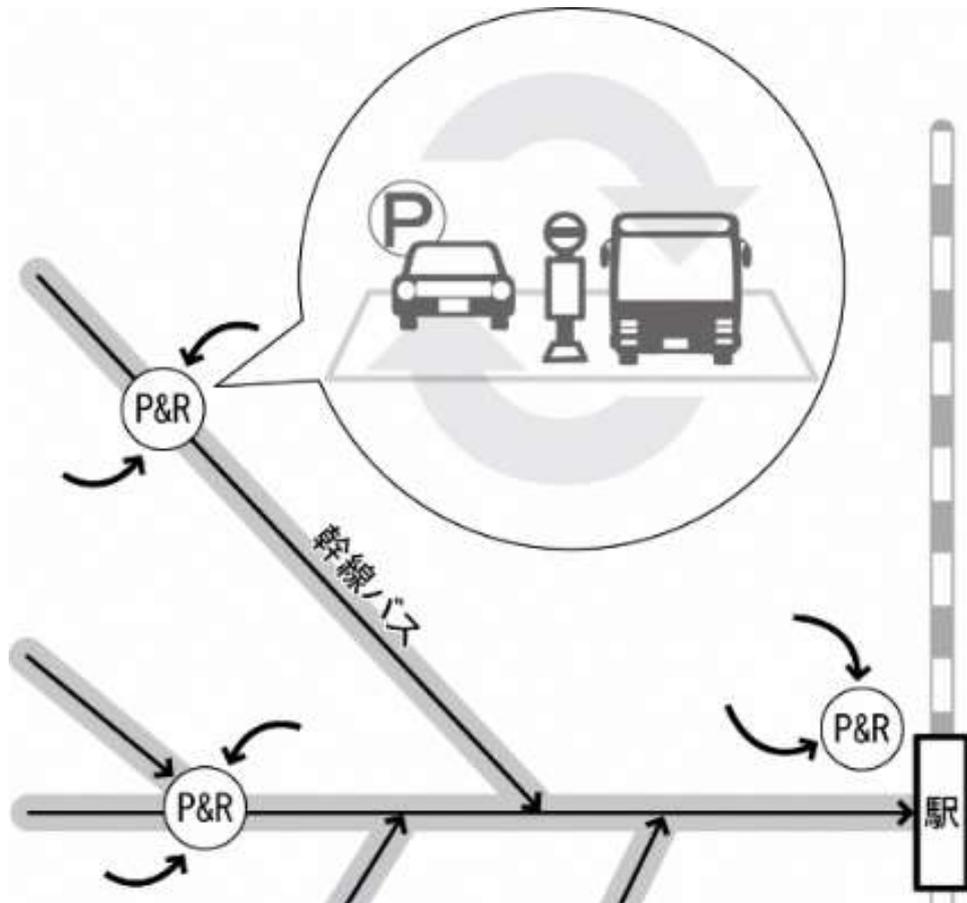
2-(1)-④ パークアンドライド用駐車場の整備

施策事業の概要 自動車から公共交通利用へ転換を図るため、鉄道駅やトランジットセンターなどの交通結節点や観光拠点などへ、公共交通との乗り継ぎに便利なパークアンドライド用駐車場を整備する。

事業主体 (関係機関等) 宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2
 ○パークアンドライド用駐車場を含むトランジットセンターの整備
 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事

パークアンドライドのイメージ



2-(1)-⑤ サイクルアンドライド用駐輪場の整備

施策事業の概要 鉄道やLRT、バス路線などの公共交通へのアクセス性を向上させるため、鉄道駅やトランジットセンター、LRTの停留場、バス停留所などに、サイクルアンドライド用の駐輪場を整備する。

事業主体 (関係機関等) 交通事業者、栃木県、宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2 ○LRT停留場周辺の駐輪場の検討

サイクルアンドライド用駐輪場の例



「足利銀行大谷出張所」駐輪場



「宝木バス停」駐輪場

2-(2)-①

公共交通の運賃負担の軽減

施策事業の概要

公共交通の利便性の向上や、乗り継ぎの負担を軽減するため、公共交通を乗り継ぐ際の運賃を割引くことやバス路線の運賃に上限を設定するなど、公共交通利用にかかる運賃負担を軽減する。

事業主体
(関係機関等)

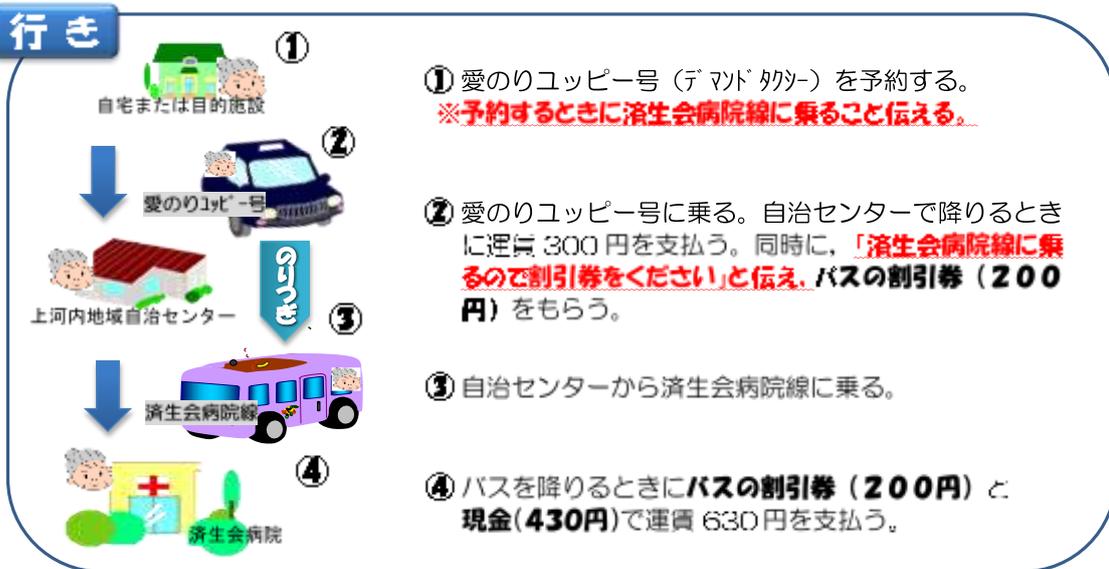
交通事業者，宇都宮市

施策事業の進捗状況

R 2

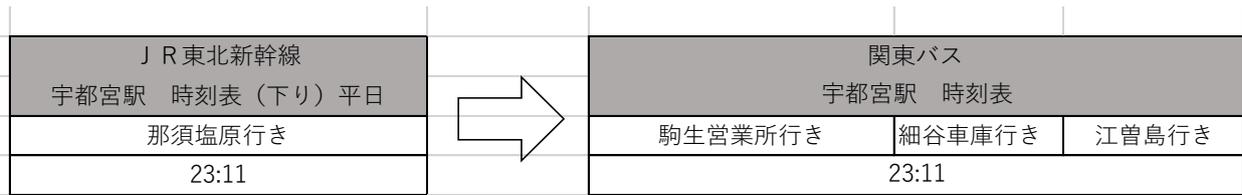
- バスの上限運賃制度の検討
- ⇒設定金額や適用時間帯などの詳細な制度内容の検討
- ⇒I Cカードのシステム安定時期を見据えた制度導入時期の検討
- ⇒効果的な周知方法の検討

かみかわち愛のリュッピー号と済生会病院線の乗継割引



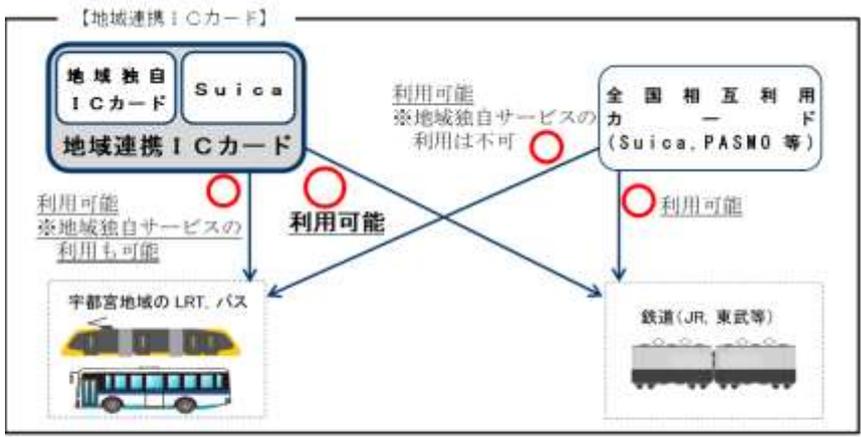
2-(2)-②		乗り継ぎに配慮した運行ダイヤの編成
施策事業の概要		公共交通間の乗り継ぎを円滑化するため、鉄道やLRTのダイヤを踏まえ、乗り継ぎに配慮したバスの運行ダイヤを編成する。
事業主体 (関係機関等)		交通事業者
施策事業の進捗状況	R 2	○東北新幹線の下り便に合わせた最終バスの運行時刻の調整

東北新幹線の下り便に合わせた最終バスの運行時刻



2-(2)-③ 交通 ICカードの導入

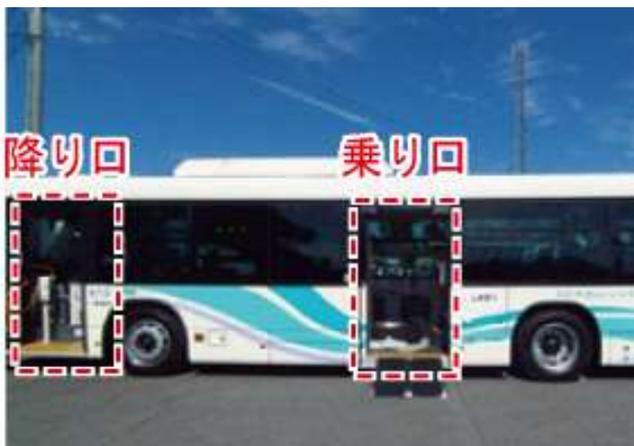
<p>施策事業の概要</p>	<p>乗降時間の短縮などの公共交通の利便性の向上や公共交通間の乗り継ぎの円滑化を図るため、鉄道やLRT、バス路線、地域内交通など多様な公共交通で共通して利用できる交通ICカードを導入する。</p>
<p>事業主体 (関係機関等)</p>	<p>交通事業者、宇都宮市</p>
<p>施策事業の進捗状況</p>	<p>R 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム・機器の設計，開発（バス・LRT） ○バスでのサービス開始 ⇒令和3年3月21日サービス開始 ○ICカードの普及促進策の検討・実施 ⇒自治会回覧やラジオ，大型映像装置など様々な媒体を活用したICカードの普及促進を図る取組の実施



地域連携 ICカードのサービスイメージ

3. 状況に応じて適切に交通手段を「つかう」

3-(1)-① バスの定時性・速達性の向上	
施策事業の概要	交通ICカードの導入と、これに伴うバスの中乗り・前降りの実現により、バスの乗降時間を短縮することに加え、定時性に優れるLRTにバス路線を接続させることや、主要なバス停留所のみ停車する急行バスを導入することなどにより、バスの定時性・速達性を向上させる。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○交通ICカードの導入に伴うバス停の中扉乗車への移行に向けた、バス停留所の支障物件除却等工事の実施 ⇒（宇都宮エリア約180か所）



バス乗降口のイメージ



バス停付近の支障物件のイメージ

3-(1)-② バスの運行時間帯の拡大

施策事業の概要 鉄道やLRTとの乗り継ぎや利用者のニーズなどを踏まえながら深夜バスや早朝バスを運行するなど、幹線バス路線の運行時間帯を拡大する。

事業主体 (関係機関等) 交通事業者，宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2 ○深夜バスの運行（4系統）

深夜バス(関東・駒生車庫行き)



3-(1)-⑤ バスの待合環境の整備

施策事業の概要 バス停留所に上屋やベンチを整備するとともに、バスの運行状況を知らせる接近表示機を設置するなど、快適なバスの待合環境を整備する。

事業主体
(関係機関等) 交通事業者，栃木県，宇都宮市

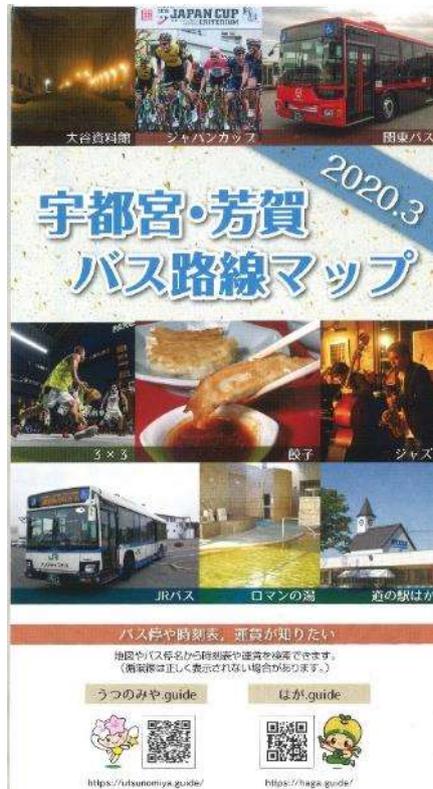
施策事業の進捗状況 R 2
○バス停留所上屋の設置
⇒雀宮駅入り口バス停への上屋設置

令和2年度実施：雀宮駅入り口（上り，下り）



3-(2)-① 公共交通の案内情報の提供	
施策事業の概要	<p>バス路線マップを作成し、転入者を始めとした市民に配布するとともに、観光客を始めとした来訪者に対して、JR宇都宮駅の「観光案内所」において、LRTやバス路線などの公共交通に関する情報を提供する。</p> <p>また、公共交通の案内に関するホームページを運用するとともに、パソコンやスマートフォンなどの地図アプリに対して情報を提供するなど、最新の技術を活用して、分かりやすく使いやすい情報の提供を行う。</p>
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 2</p> <p>○「2020年度版宇都宮・芳賀バス路線マップ」の配布 ⇒ バス事業者の各営業所，市観光案内所，市役所本庁舎，各地区市民センター等</p> <p>○「2021年度版宇都宮・芳賀バス路線マップ」の作製</p>

宇都宮・芳賀バス路線マップ



3-(2)-② バスの運行情報の提供	
施策事業の概要	バスロケーションシステムを活用し、鉄道駅や主要なバス停留所などにおいて、バスの運行状況などの情報を提供するとともに、ホームページやアプリなどを活用して、自宅などからでも運行情報を確認できるようにする。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○バス接近表示機の設置【再掲】 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により，次年度以降に先送り

バス接近表示機（JR 宇都宮駅西口）



3-(2)-③ 公共交通の案内サインの充実

施策事業の概要 近年、増加している外国人観光客などに対応するため、鉄道駅や主要なバス停留所、観光施設等において、あらゆる言語に対応できる、数字や記号を用いた分かりやすい案内サインを設置する。

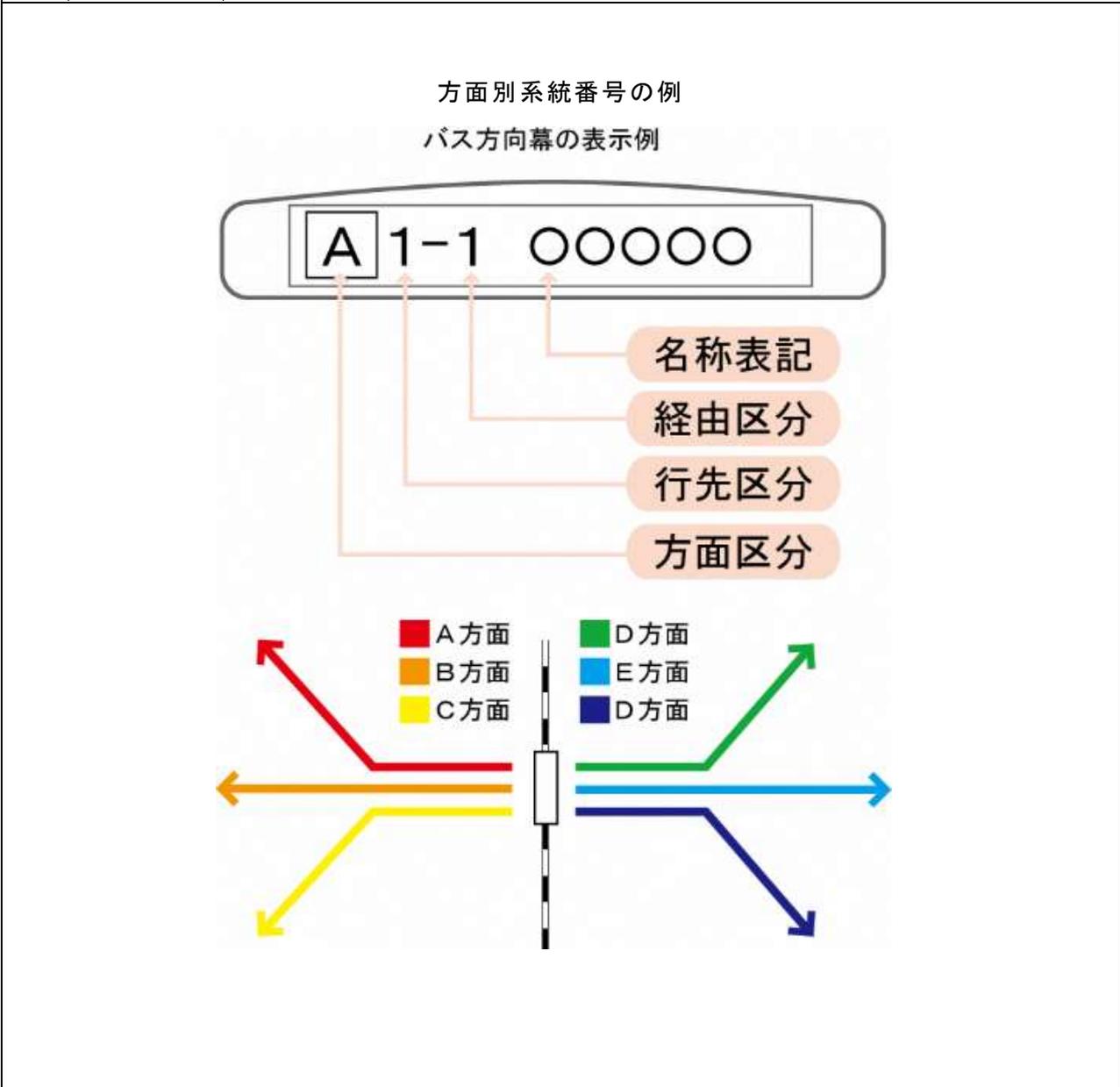
事業主体 (関係機関等) 交通事業者、宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2
 ○外国人観光客受入体制整備補助金による、案内サイン設置の促進
 ⇒新型コロナウイルス感染症等による外国人観光客の減少などの影響もあり、補助制度の申請なし

案内サインのイメージ



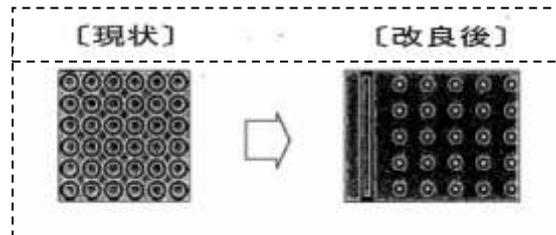
3-(2)-④ バスの方面別系統番号の導入	
施策事業の概要	バスの系統ごとの行き先や経由地が分かりやすくなるよう、市内のバス事業者で統一した、行き先の方面別の系統番号を導入する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、宇都宮市
施策事業の進捗状況	○バス路線再編に伴う J R 宇都宮駅西口バス乗り場の検討（方面別バス乗り場の検討） R 2



3-(3)-① ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入推進	
施策事業の概要	子どもから高齢者，障がい者まで，誰もが利用しやすい公共交通となるよう，バス路線へのノンステップ車両の導入や，タクシー・地域内交通へのユニバーサルデザイン車両の導入を推進し，公共交通車両のバリアフリー化を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○バス事業者におけるノンステップバスの導入 6台 ○タクシー事業におけるユニバーサルデザインタクシー車両導入 2台
<p>ノンステップバス（関東自動車）</p> 	

3-(3)-② 交通施設のバリアフリー化の推進	
施策事業の概要	子どもから高齢者，障がい者まで，誰もが利用しやすい交通環境を整備するため，鉄道駅やトランジットセンターなどのバリアフリー化を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	○西川田駅バリアフリー化設備整備 ⇒エレベーター設置，多機能トイレ等 R 2

整備イメージ：点字ブロックの改良(JR 宇都宮駅新幹線ホーム))



3-(3)-③ 交通安全に関する市民意識啓発の推進

施策事業の概要
 自動車はもとより、自転車や徒歩における交通ルールの周知・徹底を図るなど、市民に対する意識啓発を推進する。
 また、LRTの開業を見据え、軌道敷に関する交通ルール等について、市民を対象に分かりやすく周知する。

事業主体
 (関係機関等)
 交通事業者，宇都宮市

施策事業の進捗状況
 R 2
 ○意識啓発の推進
 ⇒子どもから高齢者を対象とした交通安全教室の開催（257回）
 ⇒自転車利用者に対する街頭指導の実施（10箇所・24回）
 ⇒交通安全啓発パンフレット等の作成・配布（40,698枚）
 ⇒LRTの交通ルール啓発チラシを高齢者のほか小学生～高校生に対し配布（38,335枚）

交通安全教室の様子



3-(4)-① モビリティ・マネジメント施策の推進

施策事業の概要 移動目的に応じて、自家用車と公共交通、自転車などを適切に使い分けずる社会の実現に向けて、様々な機会を捉えて市民への意識啓発を実施し、自動車から公共交通利用への転換を促進する。

事業主体 (関係機関等) 交通事業者、栃木県、宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 2
 ○市民MM
 ⇒広報誌を活用した意識啓発の実施
 ○学校MM
 ⇒バスの乗り方教室の実施 (1校)
 ○転入者MM
 ⇒バス路線マップの作製・配布 (18,000部)

バスの乗り方教室の様子



3-(4)-②		公共交通の「おもてなし」の向上
施策事業の概要		国内外からの観光客を始めとした来訪者の増加を踏まえ、イベント等の来場者輸送におけるバス路線やタクシーなどの公共交通の効果的な活用に加え、バス路線やタクシーなどにおける観光案内情報の提供を含む接遇の向上を図るとともに、快適な車内環境を整備するなど、おもてなしの向上を図ることや、公共交通利用におけるポイント制度など、日常的な利用者に対するサービス向上を図る。
事業主体 (関係機関等)		交通事業者
施策事業の進捗状況	R 2	○おもてなし推進委員会によるタクシー事業者向けの勉強会を実施。 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止

4. 交通を「ひろげる」

4-(1)-①		自動運転や安全運転支援技術の公共交通への活用
施策事業の概要	<p>国のSociety5.0やスマートシティの実現に向けた、自動運転や公共交通全体のスマート化の方針を踏まえ、バス路線や地域内交通などの公共交通への自動運転や安全運転支援技術の導入により、運行サービスや安全性の向上を図る。</p>	
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、宇都宮市	
施策事業の進捗状況	R2	<p>○地域内交通への予約配車システム導入実証実験の準備 (河内地区、清原地区)</p> <p>○観光客の多い期間にMaasを活用したAI相乗り観光タクシーの運行やグリーンスローモビリティを活用した社会実験の実施 (大谷地区)</p>

大谷 AI相乗り観光タクシー

期間：2020年10月31日(土)～12月29日(火)

料金：1,500円/1名
3,000円/3名

スマートフォンのアプリ「Japan Travel Guide + Connect」をインストール

アプリで観光予約

アプリで観光予約

大谷AI相乗り観光タクシーの予約方法

観光アプリ「Japan Travel Guide + Connect」の特設ページにて大谷地域の観光をサポートします。

【主な機能】

- 観光バスなどの公共交通機関の経路検索
- 観光客の予約・予約
- 観光客の予約
- 大谷AI相乗り観光タクシーの予約
- 大谷AI相乗り観光タクシーの予約
- 大谷AI相乗り観光タクシーの予約

大谷AI相乗り観光タクシーの予約方法

大谷AI相乗り観光タクシーの予約方法

大谷AI相乗り観光タクシーの予約方法

大谷 AI 相乗り 観光 タクシー

4-(1)-②

バス・タクシーへのゼロエミッション車の導入推進

施策事業の概要

温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい持続可能な社会を実現するため、バスやタクシーなどの公共交通車両への電気自動車や燃料電池車等のゼロエミッション(排出ガスゼロ)車両の導入を推進する。

事業主体
(関係機関等)

交通事業者，宇都宮市

施策事業の進捗状況

R 2

- EVバス等導入に向けた課題の抽出及び支援策の調査研究
⇒EVバス等導入に向けた先進事例等の調査
- 水素等の先端環境技術の活用に向けた調査研究
⇒水素技術の活用について，県，事業者と意見交換



EVバスの例（出典：羽村市公式ホームページ）

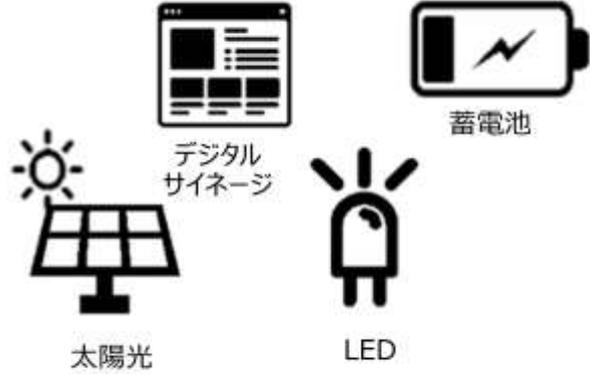
4-(1)-③ トランジットセンター周辺の低炭素化の推進

施策事業の概要
 SDGsやスマートシティの実現などを見据え、低炭素なまちづくりを推進するため、LRT沿線をモデルエリアとして、トランジットセンターなどの交通結節点の低炭素化を図るとともに、LRTの支線バスの車両において、電気バスなどの普及促進や市内の再生可能エネルギーを公共交通に供給するなど、ゼロカーボントランスポートの実現を目指す。

事業主体
 (関係機関等) 宇都宮市

施策事業の進捗状況
 R 2
 ○清原工業団地TCへの具体的な低炭素設備の選定について検討
 ○「平出町TCゾーン整備」との調整

取組イメージ



4-(2)-① 公共交通と連携したカーシェアリングの導入	
施策事業の概要	今後の少子高齢化や、国のMaaS導入に向けた動きなどを見据え、必要なときだけ自家用車を利用できるカーシェアリングを、既存の公共交通と適切に役割分担しながら導入する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 2 ○スマートシティの実現に向けた取組における「観光型MaaS」の導入に向けた検討の中でのカーシェアリング等の検討



大谷地域を目的地とする観光型MaaSの導入

4-(3)-② 広域バス路線の充実

<p>施策事業の概要</p>	<p>市内と周辺市町との間での移動の利便性を高めるため、LRTの導入やバス路線の再編などの機会を捉えて、他市町にまたがって運行する広域のバス路線の運行サービスの充実を図る。</p>
<p>事業主体 (関係機関等)</p>	<p>交通事業者，栃木県，宇都宮市</p>
<p>施策事業の進捗状況</p>	<p>R 2</p> <p>○LRT導入後の広域バス路線の運行内容等の検討 ⇒LRT導入後の運行経路・運行本数等についてバス事業者と協議 ⇒周辺市町との協議・調整（真岡市・芳賀町・市貝町・茂木町）</p>



広域を運行するバス路線（JRバス関東）

4-(3)-③ 周辺市町と連携した交通施策の推進

施策事業の概要 LRTやバス路線などの公共交通ネットワークでつながっている周辺市町と連携し、広域にまたがって運行する公共交通の運行便数や運賃体系などのサービスの向上を図る。

事業主体 (関係機関等) 宇都宮市, 周辺市町

施策事業の進捗状況 R 2
 ○学校MMの実施1校 (芳賀町)
 ○ホームページ・SNSでの情報提供
 ○外国語版ホームページへの言語追加 (2か国語)

ちよい旅とちぎ (県央地域公共交通利活用促進協議会編)

